

1. キャンパスライフ委員会の活動の概要

本学は、すべての学生と教職員が互いに人権を尊重し合い、心身ともに健康で快適なキャンパスライフを送ることのできる環境づくりをめざしています。そのために本委員会は、良好な大学生活の障害となるハラスメント（嫌がらせやいじめ）や人権侵害について、その解消・予防を図るための諸活動を行っています。

本委員会は、平成24年度から委員数が2名増え、大学教員11名と事務系職員2名の計13名の委員で構成されています（別掲1）。本委員会の下には、14名の教職員からなるキャンパスライフ相談員（別掲2）を置き、人権侵害等に関連した相談に応じる個別の窓口としています。留学生からの相談については、英語、中国語、韓国語で対応することのできる相談員を置き、便宜を図っています。また、心理的支援のための専門委員4名をおき、専門的なカウンセリングを提供しています。

平成26年度は、委員会を定例11回、臨時1回の計12回、委員・相談員・専門委員連絡会を2回開催したほか、相談案件への対応、人権侵害等に関する広報・啓発活動（各種のオリエンテーションにおける委員会活動の説明、リーフレットや『TGU』、Webページ、メールマガジンでの情報提供）などを行いました。

また、委員会内に2つのワーキンググループを常設し、委員会の役割や委員構成の検討、広報・啓発活動の強化・充実等に努めました。

本委員会は、規程によって1年間の活動を全学の構成員に報告することになっていますので、以下に要点を記します。

2. 相談案件への対応

平成26年度に本委員会に寄せられた相談は計11件でした。相談内容の内訳（重複あり）は、アカデミック・ハラスメントに関するもの6件、セクシュアル・ハラスメントに関するもの1件、アルコール・ハラスメントに関するもの1件、パワー・ハラスメントに関するもの1件、それら以外のもの3件です。このうち1つの案件について調査委員会を設置して事実関係の調査を行い、学長に提言書を提出しました。

本年度も相談の内容は多様でした。個々の案件については、できる限り迅速に事実関係を把握し、相談者の意向を尊重しつつ、適切な解決策を講じることに努めました。本年度の相談案件の特徴としては、①昨年度に引き続き大学院生の研究指導に関わる問題が多かったこと、②退職した教員、卒業生から寄せられた問題が目立ったこと、③個々の案件処理が比較的長期に及んだため複数の案件（最大5件）に同時並行で対応しなければならない場面が少なくなかったこと、が挙げられます。

3. 人権が尊重される良好なキャンパスライフづくりのための広報・啓発活動

(1) 相談体制の周知活動

本委員会に関する紙媒体のリーフレットや各種案内を学内の各所で配布しているほか、本学のWebサイト上に委員会の専用ページを設けて「キャンパスライフガイドライン」や相談窓口等についての情報を発信しています。「東京学芸大学メールマガジン」においても、毎号「お知らせ」欄に委員会のWebページのURLを掲載しています。

また、4月の新入生オリエンテーションと10月期入学の留学生オリエンテーションでは、人権問題に関する本学の姿勢やキャンパスライフ委員会の活動を紹介し、相談員の所属・氏名と連絡方法を記したリーフレット「相談できます」等を配布するとともに、「キャンパスライフガイドライン」の活用を勧めました。

(2) 人権尊重の意識を喚起するための啓発活動

- ① 年4回発行された学内広報誌『TGU』に毎号キャンパスライフ委員会からのメッセージや人権侵害防止の呼びかけを掲載しました。
- ② 「サークルリーダー研修会」において、アルコール・ハラスメントに関する学内の現状と問題点を説明し、学生たちに、飲酒に関して種々なハラスメントや違法行為が発生しないように自覚してもらう機会を提供しました。
- ③ ハラスメントになる可能性の高い行為や発言について具体的な事例を記した「キャンパスライフ・ガイドライン [応用編] ——ハラスメントの具体例集——」を完成させ、全学に配布しました。

4. 連絡会の実施

本委員会では、例年、委員・相談員・心理的支援専門員を対象にした2回（6月と12月）の連絡会を開催し、委員等の活動の質的向上を図る研修を実施しています。本年度は、6月の連絡会において、ハラスメント等の相談を受けることを専門にしているスペシャリストではない相談員・委員の活動の課題を確認しました。また、12月の連絡会では、大学院生が相談を寄せる案件の「急増」について考える機会を設けました。

<p><別掲1> <u>平成26年度キャンパスライフ委員会委員</u> ◎坂口 謙一（自然科学系技術科教育学） ○吉川 文（芸術・スポーツ科学系音楽） 伊藤 友彦（総合教育科学系支援方法学） 北詰 裕子（総合教育科学系学校教育学） 松岡 榮志（人文社会科学系アジア言語・文化研究） 久邇 良子（人文社会科学系法学・政治学） 堂囿 いくみ（自然科学系環境科学） 中野 幸夫（自然科学系環境科学） 佐見 由紀子（芸術・スポーツ科学系健康科学） 速水 敬一郎（芸術・スポーツ科学系美術） 石井 彰（保健管理センター） 佐藤 節夫（学務部長） 小熊 浩（総務部長）</p>	<p><別掲2> <u>平成26年度キャンパスライフ相談員</u> 大河原 美以（総合教育科学系臨床心理学） 奥住 秀之（総合教育科学系発達障害学） 澤田 康徳（人文社会科学系地理学） 苫米地 伸（人文社会科学系社会学） 岩元 明敏（自然科学系生命科学） 横山 隆久（自然科学系数学） 尾関 幸（芸術・スポーツ科学系美術） 渡邊 正樹（芸術・スポーツ科学系養護教育） 鈴木 直樹（芸術・スポーツ科学系体育科教育学） 斉藤 ひろみ（人文社会科学系日本語教育学） 李 修京（人文社会科学系アジア言語・文化研究） 小峯 恵子（教育研究支援部学系支援課） 相馬 光人（総務部広報企画課） 松尾 敏子（学務部国際課）</p>
--	--